

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-23604

(P2018-23604A)

(43) 公開日 平成30年2月15日(2018.2.15)

(51) Int.Cl.
A45D 33/00 (2006.01)F I
A45D 33/00 625A

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2016-157442 (P2016-157442)
(22) 出願日 平成28年8月10日 (2016.8.10)(71) 出願人 506213681
株式会社アモーレパシフィック
AMOREPACIFIC CORPORATION
大韓民国ソウル特別市龍山区漢江大路100
(74) 代理人 100121382
弁理士 山下 託嗣
(72) 発明者 キム, ジュン ヨン
大韓民国, 140-777 ソウル, ヨン
サン-グ, ハンガンロ 2-ガ, 181
(72) 発明者 キム, ジュ ホ
大韓民国, 140-777 ソウル, ヨン
サン-グ, ハンガンロ 2-ガ, 181

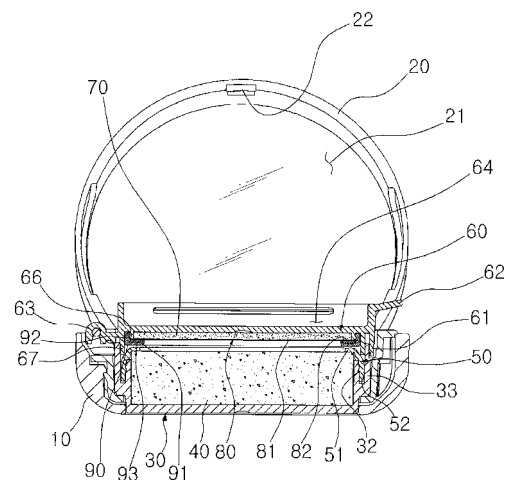
(54) 【発明の名称】 二つの化粧料が受容されるコンパクト容器

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器を提供することが課題である。

【解決手段】 本発明の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の上部が開放された外容器10と、前記外容器10の一側に結合される外容器蓋20と、前記外容器10内部に装着されて第1受容空間31が形成された内容容器30と、前記の内容容器30の第1受容空間31に受容される第1含浸部材40と、前記の内容容器30一側に結合されて下部に第2受容空間65が形成された内容容器蓋60を含み、前記の内容容器蓋60の第2受容空間65には第2含浸部材70が受容されて、前記第2含浸部材70は第2固定具90により固定結合される。

【選択図】 図5



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

上部が開放された外容器（１０）と、
前記外容器（１０）の一側に結合される外容器蓋（２０）と、
前記外容器（１０）の内部に装着されて第１受容空間（３１）が形成された内容器（３０）と、
前記の内容器（３０）の一側に結合されて下部に第２受容空間（６５）が形成された内容器蓋（６０）と、
を含み、

前記第２受容空間（６５）が前記第１受容空間（３１）と向かい合うように形成されて前期の内容器蓋（６０）で前記内容器（３０）を閉じた時、前記第２受容空間（６５）と前記第１受容空間（３１）とが共に密閉されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

10

【請求項 2】

上部が開放された外容器（１０）と、
前記外容器（１０）の一側に結合される外容器蓋（２０）と、
前記外容器（１０）の内部に装着されて前記第１受容空間（３１）が形成された内容器（３０）と、
前記の内容器（３０）の一側に結合されて下部に第２受容空間（６５）が形成された内容器蓋（６０）と、
を含み、

20

前記の内容器蓋（６０）の前記第２受容空間（６５）には第２含浸部材（７０）が受容されて、前記第２含浸部材（７０）は第２固定具（９０）により固定結合されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項 3】

第１受容空間（３１）が形成された内容器（３０）と、
前記の内容器（３０）の一側に結合されて下部に第２受容空間（６５）が形成された内容器蓋（６０）と、
を含み、

前記第２受容空間（６５）が前記第１受容空間（３１）と向かい合うように形成されて、前記の内容器蓋（６０）で前期内容器（３０）を閉じた時、前記第２受容空間（６５）と前記第１受容空間（３１）とが共に密閉されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

30

【請求項 4】

第１受容空間（３１）が形成された内容器（３０）と、
前記の内容器（３０）の一側に結合されて下部に第２受容空間（６５）が形成された内容器蓋（６０）と、
を含み、

前記の内容器蓋（６０）の前記第２受容空間（６５）には第２含浸部材（７０）が受容されて、前記第２含浸部材（７０）は第２固定具（９０）により固定結合されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

40

【請求項 5】

前記の内容器（３０）の前記第１受容空間（３１）には第１含浸部材（４０）が受容されることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項 6】

前記の内容器（３０）は前記第１受容空間（３１）と、上部に延長形成された第１内壁（３２）と、前記第１内壁（３２）の外側に一定間隔で離隔され形成された第１外壁（３３）とを含むことを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一つに記載の二類の化粧料が受容されるコンパクト容器。

50

【請求項 7】

前記の内容器（30）の上側には前記第1含浸部材（40）が外部に離脱されないように固定させる第1固定具1（50）が結合されることを特徴とする、請求項5に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項 8】

前記の内容器蓋（60）の前記第2受容空間（65）の外側には、下部に延長形成された第2内壁（66）と、前記第2内壁（66）の外側に一定間隔で離隔される第2外壁（67）とが形成されることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一つに記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項 9】

前記第2固定具（90）は内側に延長形成される第2水平延長部材（91）と前記第2水平延長部材（91）の下側に延長形成される第2下部延長部材（92）と含むことを特徴とする、請求項2又は請求項4に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項 10】

前記第2含浸部材（70）と前記第2固定具（90）の間にはスクリーン網（80）がさらに形成されるのを特徴とする、請求項2又は請求項4に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は二つの化粧料が受容されるコンパクト容器に関し、詳細には内容器には第1含浸部材を収容して前記の内容器を覆う内容器蓋には第2含浸部材を収納し、一つのコンパクト容器で二つの化粧料を使用できる二つの化粧料が受容されるコンパクト容器に関する。

【0002】

また、前記コンパクト容器は、内容器蓋に受容された第2含浸部材を固定させるスクリーン網と第2固定具が共に固定結合されているので、第2含浸部材の化粧料と第1含浸部材の化粧料とが互いに混ざらず、前記二つの成分の化粧料が化学反応することを防ぎ、容易に保管できる二つの化粧料が受容されるコンパクト容器に関する。

【0003】

また、前記コンパクト容器は、内容器の第1含浸部材と内容器蓋の第2含浸部材は、化粧料をそれぞれ受容するので、前記コンパクト容器を開放するだけで直ちに二つの化粧料を便利に使用できる、多様な色と化粧方法での演出が可能な、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器に関する。

【背景技術】**【0004】**

化粧品というのは、人体を清潔美化して魅力を加えて容貌を明るく変化させて、又は皮膚と毛髪を健康を維持・増進するために人体に使われる物品であるものの、人体に対する影響は軽微である。

【0005】

化粧品の種類では大きく、基礎化粧品、機能性化粧品、色調化粧品で分けられる。

【0006】

前記色調化粧品というのは、容貌を美しく変化させて皮膚を美しく演出する目的で使われ、皮膚の色を均一にして欠点をカバーするためのベースメーキャップと、唇、目、爪など部分的に立体感を高めるポイントメーキャップで区分される。ベースメーキャップにはメーキャップベース、ファウンデーション、パウダーなどで構成されていて、ポイントメーキャップにはリップスティック、アイライナー、マスカラなどで構成されている。

【0007】

上記の色調化粧品のうちでベースメーキャップに該当するファウンデーションは化粧

10

20

30

40

50

料の形態により固形ファウンデーション、液状ファウンデーション、ゲル状ファウンデーションに区分される。このうち、固形ファウンデーションの場合、カバー力は高いが化粧直しの際絡まってしまい塗りムラがしやすい短所があり、液状ファウンデーションの場合は、密着感が良いが持続力が弱い短所がある。

【 0 0 0 8 】

従って、最近では相当な持続力がありながら、皮膚への塗布の際、密着感が良いゲル状ファウンデーションを好む使用者が多くなっている。

【 0 0 0 9 】

一般的にゲル状ファウンデーションは界面活性剤のような乳化剤を利用してそれぞれ違う剤形の化粧料を混合して製造する。そして混合方法により、油状原料に水状原料を混合した油中水型と、水状原料に油状原料を混合した水中油型の化粧料で区分できる。

10

【 0 0 1 0 】

上記の油中水型化粧料は油状原料に水状原料を混合したもので、油分感が多くて皮膚吸収が遅くて使用感が重い、水中油型より持続性が高い長所があって、持続性が必要な化粧品の場合、汗や水に対する耐水性を増進させるために油中水型化粧料を使用して製造する。

【 0 0 1 1 】

上記の油中水型化粧料の使用感が重くてべたつく短所を補うために内容物の粘度を低くして製造するが、上記の底粘度油中水型の製品は、流通中、容器内で長期間保管される場合、内相である水状原料と外相である油状原料とが互いに分離する場合があって、使用者が容器を振って分離した水状原料と油状原料を混合して使わなければならない煩わしさが生じる問題がある。

20

【 0 0 1 2 】

上記のような問題点を解決するために、図 1 で図示した通り、本願の出願人は大韓民国登録特許第 1 0 - 1 1 5 9 8 7 7 号を開示して底粘度油中水型内容物を含浸部材に含浸させてコンパクト容器に入れる製品を開発した。

【 0 0 1 3 】

しかし、上記の従来技術は含浸部材 1 が単一体で形成されるため一つ化粧料だけ含浸させられるので、使用者の多様な化粧演出を満足させられず、使用者が化粧の際、一度に二つ以上の色または、成分が異なる化粧料を共に使うためには、他の化粧品を別に具備しなければならない問題点があった。

30

【 0 0 1 4 】

上記のような問題点を解決するために図 2 で図示したように、出願人は大韓民国登録実用新案第 2 0 - 0 4 7 3 9 6 7 号を開示したところ、これは含浸部材 2 を二部分で分離して形成したので、これにそれぞれ異なる化粧料を含浸させて、使用者が二つの化粧料を同時に使える。

【 0 0 1 5 】

しかし、上記の従来技術は、パフで含浸部材 2 においての化粧料を直接付けて皮膚に塗布できるように形成されたので、パフに化粧料を付ける過程で含浸部材 2 内に二つの成分の化粧料が互いに混ざりながら各成分の間に化学反応が生じ、化粧料の効能を低下させる問題点がある。

40

【 0 0 1 6 】

また、上記の従来技術は二つの成分の化粧料を使用する場合、使用者がパフに化粧料をつけなければならない、この過程で上記二つの成分の化粧料が互いに混ざらないように、使用者が注意しながら繊細に化粧料をパフに付けなければならない。よって化粧する際、多様な化粧方法による演出に不便があった。

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 1 7 】

本発明は、上記の問題点を解決するために案出されたものであり、内容器には第 1 含浸

50

部材を収容して前記の内容器を覆う内容器蓋には第２含浸部材を受容して一つのコンパクト容器で二つの化粧料を使えるように二つの化粧料が受容されるコンパクト容器を提供する目的がある。

【００１８】

また、前記コンパクト容器は前記の内容器蓋に受容された第２含浸部材を固定させるスクリーン網と第２固定具が共に固定結合されているので、第２含浸部材の化粧料と第１含浸部材の化粧料とが互いに混ざらず、前記二つの成分の化粧料による化学反応が起きることを防げる、保管が容易な二つの化粧料が受容されるコンパクト容器を提供する目的がある。

【００１９】

また、前記コンパクト容器は、内容器の第１含浸部材と内容器蓋の第２含浸部材は、化粧料をそれぞれ受容するので、前記コンパクト容器を開放するだけで、直ちに二つの化粧料を同時に使用できるので、多様な色と化粧方法が演出可能な二つの化粧料が受容されるコンパクト容器を提供する目的がある。

【課題を解決するための手段】

【００２０】

本発明は上部が開放された外容器１０と、
前記外容器１０の一側に結合される外容器蓋２０と、
前記外容器１０内部に装着されて第１受容空間３１が形成された内容器３０と、
前記の内容器３０の第１受容空間３１に受容される第１含浸部材４０と、
前記の内容器３０一側に結合されて下部に第２受容空間６５が形成された内容器蓋６０
とを含み、

前記の内容器蓋６０の第２受容空間６５には第２含浸部材７０が受容されて、前記第２含浸部材７０は第２固定具９０により固定結合されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器を提供する。

【００２１】

また、前記の内容器３０は第１受容空間３１と上部に延長形成される第１内壁３２と前記第１内壁３２外側に一定間隔で離隔して形成された第１外壁３３からなる。

【００２２】

また、前記の内容器３０上側には第１含浸部材４０を外部に離脱しないように固定させる第１固定具５０が結合されることを特徴とする。

【００２３】

また、前記第１含浸部材４０と第２含浸部材７０にはそれぞれ異なる成分または、別の色の化粧料が含浸されることを特徴とする。

【００２４】

また、前記の内容器蓋６０の第２受容空間６５外側には、上部に延長形成される第２内壁６６と前記第２内壁６６外側に一定の間隔で離隔して第２外壁６７が形成されることを特徴とする。

【００２５】

また、前記第２固定具９０は内側に延長形成される第２水平延長部材９１と前記第２水平延長部材９１下側に延長形成される第２下部延長部材９２で構成される。

【００２６】

また、前記第２含浸部材７０と第２固定具９０の間にはスクリーン網８０がさらに形成されることを特徴とする。

【発明の効果】

【００２７】

前述のように、本発明による、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器は、内容器には第１含浸部材を受容し、前記の内容器を覆う内容器蓋には第２含浸部材を収容して、一つのコンパクト容器で二つの化粧料を使える効果がある。

【００２８】

10

20

30

40

50

また、本発の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器は、内容器蓋に受容された第2含浸部材を固定させるスクリーン網と第2固定具とが、共に固定結合されているので第2含浸部材の化粧料と第1含浸部材の化粧料とが互いに混ざらず、前記二つの成分の化粧料による化学反応が起きることを防げる、保管が容易な効果がある。

【0029】

また、本発明の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器は、内容器の第1含浸部材と内容器蓋の第2含浸部材は、化粧料をそれぞれ受容するので、前記コンパクト容器を開放するだけで、直ちに二つの化粧料を同時に使用できるので、多様な色と化粧法を容易に演出できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

10

【0030】

【図1】従来のコンパクト容器である。

【図2】従来の他のコンパクト容器の分解斜視図である。

【図3】本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の斜視図である。

【図4】本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の分解斜視図である。

【図5】本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の断面図である。

【図6】本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の内容器蓋を開放した状態の断面図である。

20

【図7】本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の第1含浸部材を使用した状態の断面図である。

【図8】本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の第2含浸部材を使用した状態の断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0031】

本発明による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の一実施例を、添付図面を参照して説明すれば次の通りである。

【0032】

30

図3は、本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の斜視図であり、図4は本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の分解斜視図である。

【0033】

図5は本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の断面図であり、図6は本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の内容器蓋を開放した状態の断面図である。

【0034】

図7は本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の第1含浸部材を使用した状態の断面図であり、図8は本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の第2含浸部材を使用した状態の断面図である。

40

【0035】

本発明の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器は、上部が開放された外容器10と、前記外容器10の一側に結合される外容器蓋20と、前記外容器10の内部に装着されて第1受容空間31が形成された内容器30と、前記の内容器30の第1受容空間31に受容される第1含浸部材40と、前記の内容器30一側に結合されて下部に第2受容空間65が形成された内容器蓋60とを含む。

【0036】

前記外容器10は、一側面にロック部材12を具備した押しボタン11と前記押しボタン11の向かい合う側にヒンジが形成されて、外容器蓋20とヒンジ結合され、内周面に

50

は締結突起 13 が形成されて、内周縁にはヒンジ部装着凹部 14 が形成される。

【0037】

前記押しボタン 11 は、使用者の押す動作によって押しボタン 11 の上部に延長形成されたロック部材 12 が容易に後退されて外容器蓋 20 のロック突起 22 から離脱できるようにする。

【0038】

前記締結突起 13 は内容容器 30 の第 1 外壁 33 外周面に形成された締結穴 331 と締結される。

【0039】

前記ヒンジ部装着凹部 14 には内容容器 30 のヒンジ部 34 が挿入される。

10

【0040】

前記外容器蓋 20 は外容器 10 の上部を覆うことで外容器 10 とヒンジ結合に連結されて、前記外容器 10 を開放や閉鎖する役割をする。

【0041】

前記外容器蓋 20 は内側に鏡 21 が具備され、使用者は前記鏡 21 を見ながら、化粧料を利用して容易に化粧できる。

【0042】

前記外容器蓋 20 一侧にはロック突起 22 が形成され、外容器 10 のロック部材 12 と対応するように突起形状で形成される。

【0043】

20

前記外容器 10 の内側には内容容器 30 が装着されて、前記の内容容器 30 は第 1 受容空間 31 と上部に延長形成された第 1 内壁 32 と前記第 1 内壁 32 外側に一定間隔で離隔して形成された第 1 外壁 33 からなる。

【0044】

前記第 1 内壁 32 と第 1 外壁 33 の間には第 1 固定具 50 が挟まれて結合される。

【0045】

前記第 1 外壁 33 の外周面には締結穴 331 が形成されて、前記締結穴 331 は外容器 10 の内周面に形成された締結突起 13 と締結されて内容容器 30 が外容器 10 から分離されることを防止する。

【0046】

30

前記第 1 外壁 33 の外周縁にはヒンジ部 34 が形成されて、前記ヒンジ部 34 には内容容器蓋 60 に形成されたことを係止リング 63 が係りあって止められて結合される。

【0047】

前記の内容容器 30 には化粧料が含浸なった第 1 含浸部材 40 が内蔵されて、前記第 1 含浸部材 40 はBR (Butadiene Rubber)、SBR (Styrene Butadiene Rubber)、NR (Natural Rubber)、NRSBR (Natural Rubber Styrene Butadiene Rubber)、NBR (acrylonitrile-butadiene rubber)、湿式ウレタン、乾式ウレタン、ポリエーテル、ポリエステル、ポリ塩化ビニール、ポリエチレン、ラテックス、シリコン、PVA (Polyvinyl Alcohol)、ニトリルゴム、ブチルゴム及びネオプレンで構成された群から選択される一つ以上の材質からなる。

40

【0048】

前記の内容容器 30 には第 1 固定具 50 が結合されて、前記第 1 固定具 50 は内側に延長形成される第 1 水平延長部材 51 と前記第 1 水平延長部材 51 の下側に延長形成される第 1 下部延長部材 52 から構成される。

【0049】

前記第 1 水平延長部材 51 は内容容器 30 の第 1 内壁 32 の上段に装着され、第 1 含浸部材 40 の離脱を防ぐ。

【0050】

前記第 1 下部延長部材 52 は内容容器 30 の第 1 内壁 32 と第 1 外壁 33 の間に挟まれて結合され、第 1 固定具 50 が内容容器 30 から離脱することを防止する。

50

【 0 0 5 1 】

前記の内容器 3 0 の上部には内容器蓋 6 0 が結合される。

前記の内容器蓋 6 0 は下段に密閉片 6 1 が延長形成されて、前記密閉片 6 1 は図 5 で図示したように、内容器 3 0 の第 1 外壁 3 3 に結合されて前記の内容器 6 0 の機密性を増大させる役割をする。

【 0 0 5 2 】

前記の内容器蓋 6 0 の一側面には容易な開閉のために開閉取っ手 6 2 が形成される。

【 0 0 5 3 】

前記の内容器蓋 6 0 は一側に係止リング 6 3 が形成されて、前記係止リング 6 3 は内容器 3 0 の一側に形成されたヒンジ部 3 4 にリングに係り止められる方式で締結される。

10

【 0 0 5 4 】

前記係止リング 6 3 の内周面には図 5 に図示した通り、離脱防止突起 6 3 1 が形成されて、前記離脱防止突起 6 3 1 は係止リング 6 3 の離脱を防止する。

【 0 0 5 5 】

また、内容器蓋 6 0 の上面には化粧道具であるパフ P を保管できるパフ保管凹部 6 4 が形成される。

【 0 0 5 6 】

前記の内容器蓋 6 0 の下部には第 2 受容空間 6 5 が形成されて、前記第 2 受容空間 6 5 の下方に延長形成された第 2 内壁 6 6 と前記第 2 内壁 6 6 外側に一定間隔で離隔して第 2 外壁 6 7 が形成される。

20

【 0 0 5 7 】

前記第 2 内壁 6 6 と第 2 外壁 6 7 の間には第 2 固定具 9 0 が挟まれて結合される。

【 0 0 5 8 】

前記第 2 受容空間 6 5 には化粧料が含浸された第 2 含浸部材 7 0 が内蔵される。

【 0 0 5 9 】

前記第 2 受容空間 6 5 は図 5 に図示したように、第 1 受容空間 3 1 と向かい合うように形成されて、内容器蓋 6 0 で内容器 3 0 を閉じた時、第 2 受容空間 6 5 と第 1 受容空間 3 1 が共に密閉される。

【 0 0 6 0 】

前記第 2 含浸部材 7 0 に内蔵された化粧料は内容器 3 0 の第 1 含浸部材 4 0 に含浸される化粧料とは異なる化粧料が受容されるので、本発明のコンパクト容器を開放するだけで、直ちに二つの化粧料を便利に使用できる長所がある。

30

【 0 0 6 1 】

前記第 2 含浸部材 7 0 は第 1 含浸部材 4 0 と同様に BR (Butadiene Rubber)、SBR (Styrene Butadiene Rubber)、NR (Natural Rubber)、NRSBR (Natural Rubber Styrene Butadiene Rubber)、NBR (acrylonitrile-butadiene rubber)、湿式ウレタン、乾式ウレタン、ポリリエーテル、ポリエステル、ポリ塩化ビニール、ポリエチレン、ラテックス、シリコン、PVA (Polyvinyl Alcohol)、ニトリルゴム、ブチルゴム及びネオプレンで構成された群から選択される一つ以上の材質からなる。

【 0 0 6 2 】

前記第 2 含浸部材 7 0 の上にはスクリーン網 8 0 がさらに形成されて、前記スクリーン網 8 0 はメッシュ部 8 1 と前記メッシュ部 8 1 の枠を形成するフレーム 8 2 で構成される。

40

【 0 0 6 3 】

前記スクリーン網 8 0 は第 2 含浸部材 7 0 の上部を覆うので、図 5 に図示したように、第 2 含浸部材 7 0 が下の方に向かって位置しても前記第 2 含浸部材 7 0 が下に落ちることを防止できて、第 2 含浸部材 7 0 が第 1 含浸部材 4 0 と触れて化粧料が混ざることが防止できる。

【 0 0 6 4 】

前記の内容器蓋 6 0 の第 2 内壁 6 6 と第 2 外壁 6 7 の間には第 2 固定具 9 0 が結合され

50

て、前記第２固定具９０は内側に延長形成される第２水平延長部材９１と前記第２水平延長部材９１下側に延長形成される第２下部延長部材９２で構成される。

【００６５】

前記第２水平延長部材９１は内容器蓋６０の第２内壁６６下段に装着され、スクリーン網８０と第２含浸部材７０が離脱することを防止する。

【００６６】

前記第２水平延長部材９１の内側にはフレーム装着溝９３が形成されて、前記フレーム装着溝９３にはスクリーン網８０のフレーム８２が挟まれて前記スクリーン網８０が第２固定具９０から分離することを防止する。

【００６７】

前記第２下部延長部材９２は内容器蓋６０の第２内壁６６と第２外壁６７との間に挟まれて結合されて、第２固定具９０が内容器蓋６０から離脱することを防止する。

【００６８】

本発明の一実施例による二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の組み立て方法及び使用状態を詳細に説明すれば、次の通りである。

【００６９】

本発明は上部が開放された外容器１０の一侧に外容器蓋２０を結合した後、内容器３０に化粧料が含浸された第１含浸部材４０を装着した後、第１固定具５０を内容器３０に結合して前記第１含浸部材４０が内容器３０から分離することを防止する。

【００７０】

以後、内容器蓋６０の下部に形成された第２受容空間６５に化粧料が含浸された第２含浸部材７０を装着させる。

【００７１】

この際、前記第２含浸部材７０に含浸される化粧料は第１含浸部材４０に含浸された化粧料とは異なる化粧料が含浸されるので、本発明のコンパクト容器は二つの化粧料をすべて、収容できる長所がある。

【００７２】

そして、前記第２含浸部材７０の上にスクリーン網８０を装着した後、第２固定具９０を内容器蓋６０に結合して第２含浸部材７０とスクリーン網８０が内容器蓋６０から分離することを防止する。

【００７３】

以後、前記の内容器蓋６０を内容器３０に結合して組み立てを完了する。

【００７４】

前記の方法で組み立てられた二つの化粧料が受容されるコンパクト容器の内容物を使うためには、図６に図示したように内容器蓋６０を開放する。

【００７５】

以後、図７に図示したように、パフＰで第１含浸部材４０を加圧して前記第１含浸部材４０に含浸された化粧料を使用し、他の化粧料を使いたいときは、図８に図示したようにスクリーン網８０を加圧して内容器蓋６０の下部に受容された第２含浸部材７０に含浸された化粧料を使用する。

【００７６】

本発明のコンパクト容器は、第１含浸部材４０と第２含浸部材７０はそれぞれ異なる化粧料が含浸されるので、開放すると同時に、二つの化粧料を便利に使用できる長所がある。

【００７７】

以上、本発明で説明したことは二つの化粧料が受容されるコンパクト容器を実施するための一つの一実施例に過ぎないので、本発明は前記一実施例に限定されるのではない。

【００７８】

添付された請求範囲で請求するように、本発明の要旨から離れることなく、発明が属する分野で通常の知識を有するものなら、誰でも多様な変更実施が可能な範囲までが本発明

10

20

30

40

50

の範囲に属することと見なさないといけないだろう。

【符号の説明】

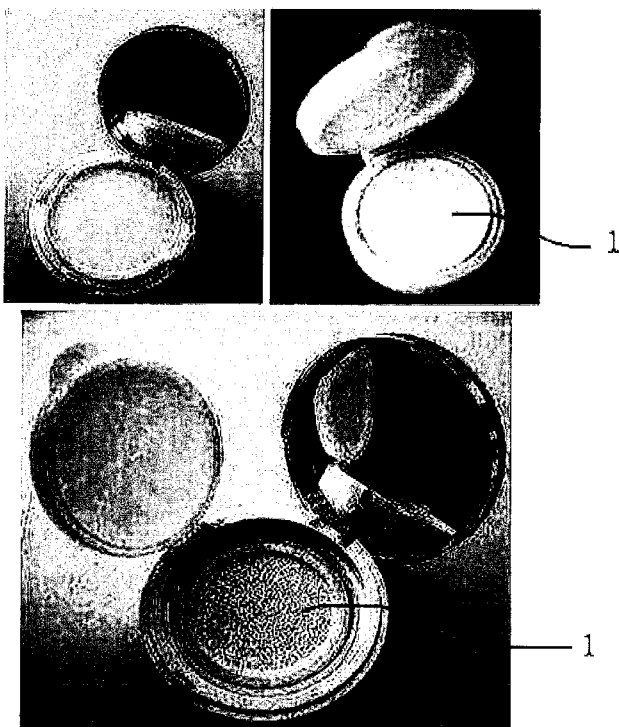
【0079】

- | | |
|-------------|-------------|
| 10:外容器 | 11:押しボタン |
| 12:ロック部材 | 13:締結突起 |
| 14:ヒンジ部装着凹部 | 20:外容器蓋 |
| 21:鏡 | 22:ロック突起 |
| 30:内容器 | 31:第1受容空間 |
| 32:第1内壁 | 33:第1外壁 |
| 331:締結穴 | 34:ヒンジ部 |
| 40:第1含浸部材 | 50:第1固定具 |
| 51:第1水平延長部材 | 52:第1下部延長部材 |
| 60:内容器蓋 | 61:密閉片 |
| 62:開閉取っ手 | 63:係止リング |
| 64:パフ保管凹部 | 65:第2受容空間 |
| 66:第2内壁 | 67:第2外壁 |
| 70:第2含浸部材 | 80:スクリーン網 |
| 81:メッシュ部 | 82:フレーム |
| 90:第2固定具 | 91:第2水平延長部材 |
| 92:第2下部延長部材 | 93:フレーム装着溝 |

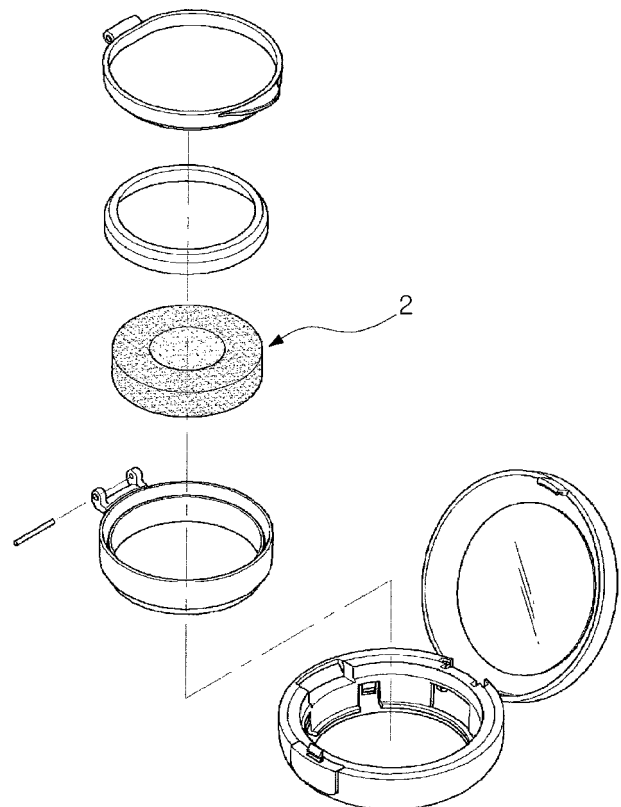
10

20

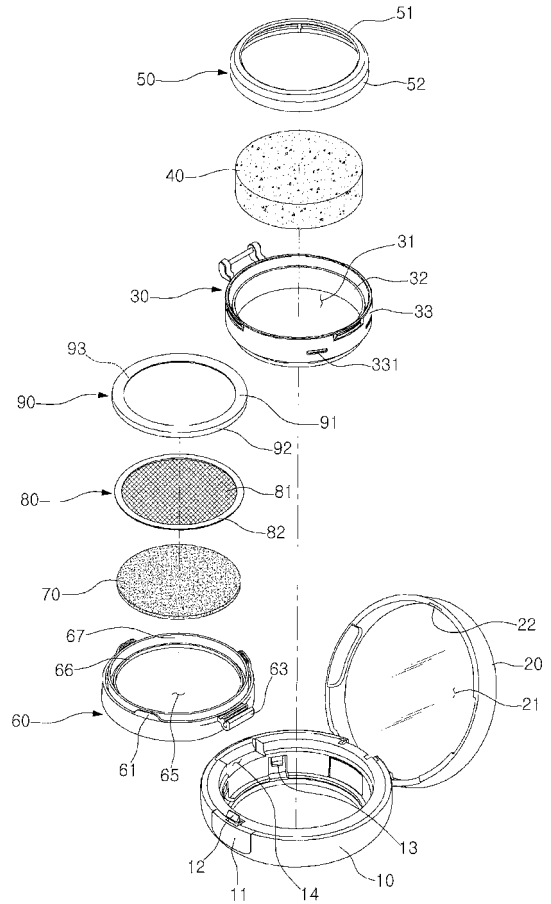
【図1】



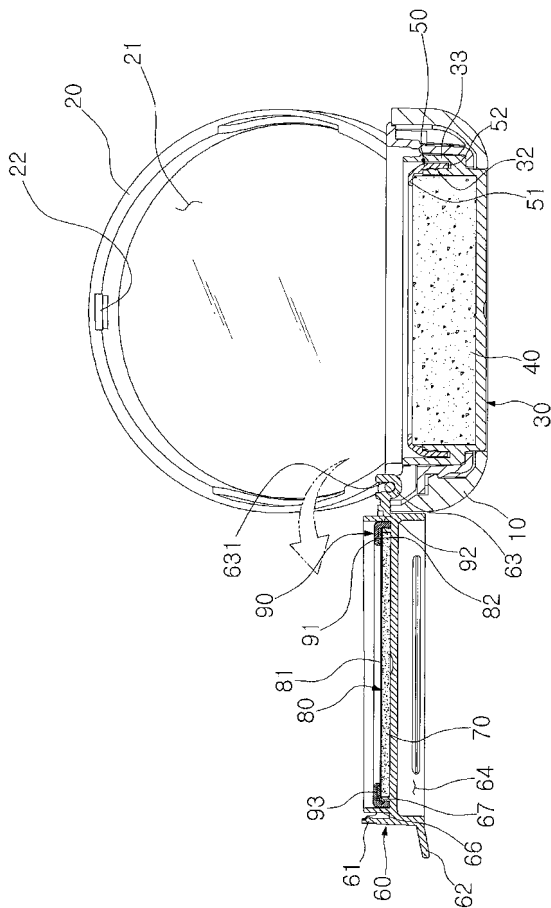
【図2】



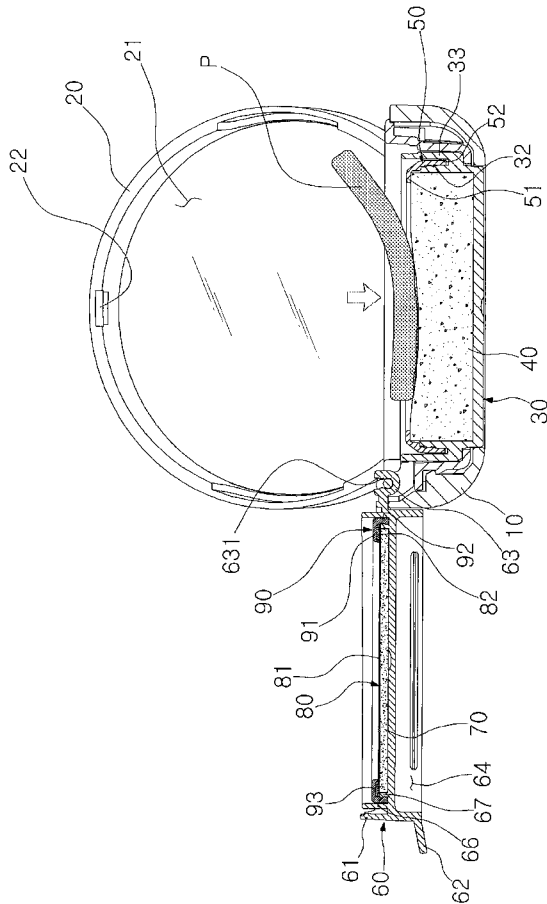
【 図 4 】



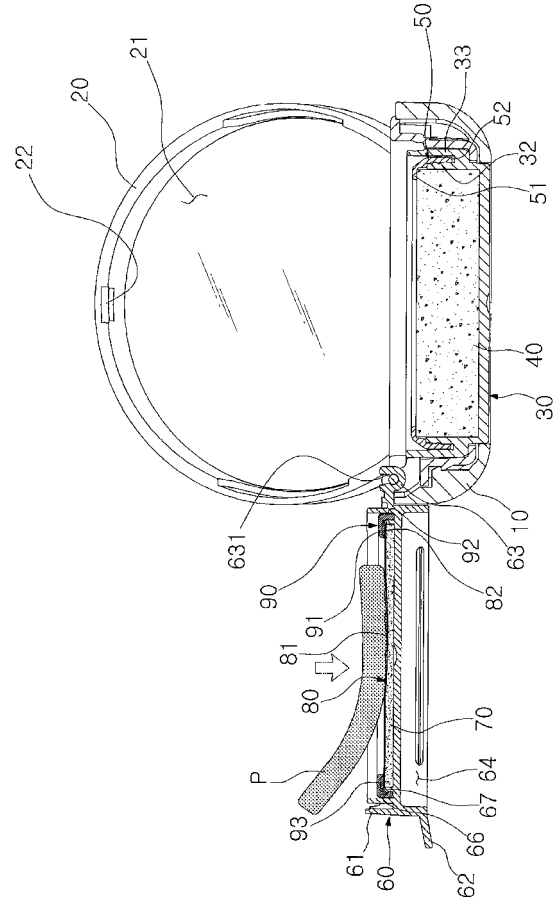
【 図 6 】



【図 7】



【図 8】



【手続補正書】

【提出日】平成29年12月12日(2017.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上部が開放された外容器（10）と、

前記外容器（10）の一侧に結合される外容器蓋（20）と、

前記外容器（10）の内部に装着されて第1受容空間（31）が形成された内容器（30）と、

前記の内容器（30）の一侧に結合されて下部に第2受容空間（65）が形成された内容器蓋（60）と、

を含み、

前記の内容器蓋（60）の前記第2受容空間（65）には第2含浸部材（70）が受容されて、前記第2含浸部材（70）は第2固定具（90）により固定結合され、

前記第2含浸部材（70）と前記第2固定具（90）の間にはスクリーン網（80）がさらに形成されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項 2】

第1受容空間（31）が形成された内容器（30）と、

前記の内容器（30）の一侧に結合されて下部に第2受容空間（65）が形成された内容器蓋（60）と、

を含み、

外容器（１０）及び外容器蓋（２０）を備えず、

前記の内容容器蓋（６０）の前記第２受容空間（６５）には第２含浸部材（７０）が受容されて、前記第２含浸部材（７０）は第２固定具（９０）により固定結合され、

前記第２含浸部材（７０）と前記第２固定具（９０）の間にはスクリーン網（８０）がさらに形成されることを特徴とする、二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項３】

前記の内容容器蓋（６０）で前記内容容器（３０）を閉じた際、前記第２受容空間（６５）と前記第１受容空間（３１）が向かい合って形成され、前記第２受容空間（６５）と前記第１受容空間（３１）とが共に密閉されることを特徴とする、請求項１または２に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項４】

前記スクリーン網（８０）はメッシュ部（８１）と前記メッシュ部（８１）の枠を形成するフレーム（８２）で構成され、前記フレーム（８２）が、前記第２固定具（９０）と、前記内容容器蓋（６０）との間に挟み込まれていることを特徴とする、請求項１または２に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項５】

前記の内容容器（３０）の前記第１受容空間（３１）には第１含浸部材（４０）が受容されることを特徴とする、請求項１または２に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項６】

前記の内容容器（３０）は前記第１受容空間（３１）と、上部に延長形成された第１内壁（３２）と、前記第１内壁（３２）の外側に一定間隔で離隔され形成された第１外壁（３３）とを含むことを特徴とする、請求項１または２に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項７】

前記の内容容器（３０）の上側には前記第１含浸部材（４０）が外部に離脱されないように固定させる第１固定具（５０）が結合されることを特徴とする、請求項５に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項８】

前記の内容容器蓋（６０）の前記第２受容空間（６５）の外側には、下部に延長形成された第２内壁（６６）と、前記第２内壁（６６）の外側に一定間隔で離隔される第２外壁（６７）とが形成されることを特徴とする、請求項１または２に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。

【請求項９】

前記第２固定具（９０）は、内側に延長形成される第２水平延長部材（９１）と、前記第２水平延長部材（９１）の下側に延長形成される第２下部延長部材（９２）とを含むことを特徴とする、請求項１または２に記載の二つの化粧料が受容されるコンパクト容器。